

LB501C Zippy

1973年 / 市販車

ヤマハ発動機の「スポーティーファッション」レジャーバイク第1号。49cc、4.5psのエンジンをバックボーンフレームをカバーする逆三角形のプレス鋼板ボディに収め、高さを695mmに低く抑えたうえ、645mmの長いシートにすることによって自由なライディングポジションを実現。

前輪14インチ、後輪は8インチ小径極太のタイヤの採用など、それまでのオートバイのイメージを覆す、レジャーモデルらしいユニークでタフな印象のボディスタイリングは類を見ない魅力を持っていた。Zippyは、「活発な」とか「キビキビした」などの意味。その後レジャーバイクシリーズは、チャッピー (LB50II) やボビー (LB50III) へと、それぞれ個性的なデザインに展開されていった。

1983 - Chappy



1977 - bobby



COMMUNICATION
P L A Z A